

【議論の要点のまとめ】

1. まちづくりセンター整備基本計画素案について(中間とりまとめ)

- これまでの議論やアンケートの結果等が良くまとめられた形になりつつあると思う。
- 子育て支援は重要な機能なので、強調したい。増加する高齢者やこれまで中央公民館を利用してこなかった人たちの要望を盛り込んでいけると良い。
- 利用者が気軽に何度も来てくれるようなオープンで親しみのあるまちづくりセンターであることの方が大切だと思う
- ステージ、コンパクトでリーズナブルなホール、防音設備などのニーズも把握できた。
- 久御山町のイメージとなり、町を愛する人を作るのに繋がる施設になると良い

2. まちづくりセンターの役割と位置づけ、運営体制等について

- 新しいまちづくりセンターを利用する人たちの意見を集約して反映させ、収益性と公共性のバランスを取りながら、利用率を上げる工夫が必要。
- 既存施設との連携や役割分担について、さらに検討が必要だと感じた。
- 運営面については、どのように使っていくかがポイント。ものづくり教室等、良い講座があれば人は寄ってくる。民間事業者とコーディネーターで上手に連携して欲しい。
- 役場職員が頑張って、利用者を客ではなく主体にすることが大事。
- 子育てというと乳幼児に目がいきがちだが、青少年(小中学生)にももっと焦点を当てるべき。
- 概ねご賛同いただいているため、この方向性で進めていく。

3. 施設案について

- ホールについて、可動式間仕切りのイメージがついた。多様な使われ方が出来そうで良いと思う。
- サークル活動や文化・芸術活動の一部との位置づけで良いので、図書館機能は入れて欲しい。
- 療育の観点からは、いつでも(一年中)遊べる水遊び場や砂場があると良い。
- ロビーの在り方が重要。ロビーに居場所となる空間を如何に作るかを明示できると良い。
- ロビーの件を含め、建築で解決出来ることもあるので、引き続き議論を深めていきたい。
- この建物に最も長く滞在するのは職員なので、職員のスペースについても配慮が必要。事務室は職員やスタッフの顔が良く見える様に。
- 新型コロナウイルスへの配慮から、安心安全の観点も今後明文化していきたい
- 民間事業者は、募集要項を見て提案をするため、施設についての要望事項は、事前に募集要項に盛り込む必要がある。足りない視点については、今後文字に落とし込んでいく必要があるため、引き続きご意見を頂きたい。
- 委員皆様の論点が十分に意見として挙がっている。この方向性で進めていく。